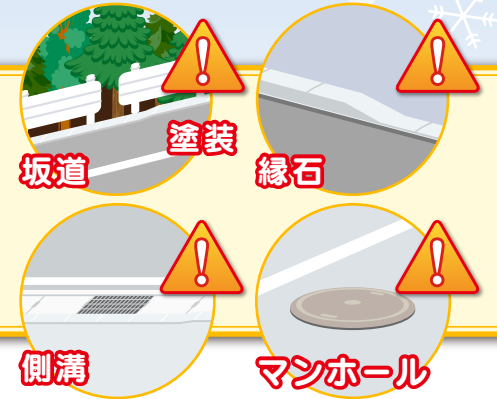




路面凍結スリップ転倒に注意しよう!!

～雪道での自転車通学～

降雪・吹雪時は道路が凍結したり、視界不良となったりして転倒や衝突などの事故が起こります。時に、横断歩道などの路面を塗装した所や坂道、縁石、側溝、マンホールなどが、とても滑りやすくなります。



【雪道での事故事例】

朝、自転車で下り坂を走行中。前日の雪が解けて、薄く凍っていったため凍結の状況がわからなかった。スリップしそのまま左膝をついて転倒した。さらに、左足首がペダルと後輪にはさまれ捻挫した。

(高2・女子)

登校中に、坂道を自転車で駆け降りていた。雪が残っており、路面が凍結していたが、急いでいたため、スピードを出していた。狭い道から車が出てきたため、急ブレーキをかけた際、自転車が滑り、転倒して右足を強打した。

(中3・男子)

事例は平成29年度災害共済給付データより



雪道での自転車の運転は危険です。
自転車を利用しないか、状況によっては自転車を押して歩くなどの判断が必要です。

